

参加  
募集

# 洞海湾干潟の清掃 vol.3 絶滅危惧種“シバナ”を守れ

2006年2月2日（木）

かつては「死の海」とまで呼ばれた洞海湾は、市民・行政・企業による水質浄化の努力が実り、昨今では、多くの魚類、エビ・カニ類、貝類が住める海に蘇りました。本城橋付近にある干潟では、多くの野鳥が見られるものの、同時に多くの漂流物や廃棄物も見られます。またそこは絶滅危惧種である「シバナ」の群落の生息空間でもありました。

このイベントは、'04年11月、'05年11月に続き、干潟を清掃し、本来の干潟の持つ浄化機能を保たせるとともに、“シバナ”を保全しようとするものです。

日時：2006年2月2日（木曜日）14：00～16：00

※小雨決行、大雨時延期

清掃場所：八幡西区本城橋付近の干潟（八幡西区洞北町）

プログラム：14：00 集合（九州共立大自由が丘会館前）、バスで移動

14：20～14：50 洞海ビオパーク視察

15：00～16：00 干潟清掃

16：00 終了

集合場所：【一次集合】14時/九州共立大学自由が丘会館前  
（北九州市八幡西区自由ヶ丘1-8）

アクセス＝北九州都市高速道路利用の場合→黒崎ICより折尾方面へ（20分）または、  
国道3号線利用の場合→折尾女学園入口交差点より高須方面へ（5分）

【二次集合】15時/八幡西区本城橋付近の干潟（八幡西区洞北町）

対象：学生、市民

服装他：作業しやすい服装、ゴム長靴、軍手又はゴム手袋、タオル、飲料

参加費：無料

主催：九州共立大学工学部環境サイエンス学科、  
NPO北九州ビオトープ・ネットワーク研究会

後援：北九州市港湾局、北九州市立大学国際環境工学部、水際線利用  
協議会

支援：（株）エヌエスウインドパワーひびき

問合せ：NPO北九州ビオトープ・ネットワーク研究会

TEL：093-695-3364、E-mail：yasueda@env.kitakyu-u.ac.jp

コラボ環境ネットワーク

||

九州共立大学環境サイエンス学科 2年生  
環境フィールドワーク

+

NPO北九州ビオトープ・ネットワーク研究会  
第25回環境実践イベント  
江川・洞海湾の水辺を考える その8

シバナ

*Triglochin maritimum* Linn.

ホロムイソウ科シバナ属

北海道～九州の海岸塩性湿地に分布する多年草です。シバナには春咲きの北方型（日本海側以北）と秋咲きの南方型（太平洋側）があります。また、西日本のほうの個体は葉の幅がすこし広がっています。

